

# 2022年5月期 決算説明会

(証券コード：7713)



2022年 7月 26日 (火曜日)

# 目次

## 1. 2022年5月期 決算概要

執行役員 管理本部長兼経理部長

石井 康之

## 2. 2023年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長兼経理部長

石井 康之

## 3. 2023年5月期 営業戦略

営業本部長

森 政之

## 4. 質疑応答

各国で経済活動の再開が進み、世界経済は総じて堅調に推移。  
特に電子部品・半導体業界等を中心とした産業分野向けの需要が好調。

	20/5期 累計実績 (前年同期比)	21/5期 累計実績 (前年同期比)	修正予算 (前年同期比)	22/5期 累計実績 (前年同期比)	構成比	サマリー
売上高	8,493 (▲6.1%)	8,765 (+3.2%)	9,885 (+12.8%)	10,354 (+18.1%)	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育機関、公的機関向けは弱含みに推移</li> <li>産業分野向けは、国内・アジア地域では、中間期からの電子部品・半導体業界向け光学要素部品が好調維持</li> <li>米国・欧州ともに中間期から堅調を維持</li> </ul>
営業利益	711 (▲36.6%)	983 (+38.2%)	1,370 (+39.3%)	1,437 (+46.2%)	13.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高の製品構成の変化による粗利率改善</li> <li>全社的な経費削減を推進し、販売管理費率を抑制</li> </ul>
経常利益	840 (▲32.6%)	1,152 (+37.2%)	1,500 (+30.1%)	1,614 (+40.1%)	15.6%	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	595 (▲28.1%)	822 (+38.1%)	1,070 (+30.1%)	1,170 (+42.3%)	11.3%	
1株当たり 当期純利益	84円10銭	116円15銭	151円08銭	165円23銭	—	
平均為替レート						
1USD円	109.10円	106.17円	110.00円	112.86円		
1ユーロ	121.14円	123.73円	129.00円	131.01円	—	
1人民元	15.66円	15.63円	17.00円	17.59円		
1SGD	79.47円	77.65円	81.00円	83.71円		

## 2 セグメント別売上高・営業損益(連結)

### 売上高

【百万円未満切り捨て】

製品区分	20/5期	21/5期	22/5期		
	累計実績	累計実績	累計実績	構成比	前年同期比
要素部品事業	7,213	7,313	9,018	87.1 %	+23.3 %
光学基本機器製品	2,594	2,439	2,868	27.7 %	+17.6 %
自動応用製品	1,363	1,348	1,627	15.7 %	+20.7 %
光学素子・薄膜製品	3,255	3,526	4,522	43.7 %	+28.3 %
システム製品事業	1,339	1,552	1,434	13.9 %	▲7.6 %
光学システム製品	1,339	1,552	1,434	13.9 %	▲7.6 %
消去	▲59	▲100	▲99	▲1.0 %	-
合計	8,493	8,765	10,354	100.0 %	+18.1 %

### 営業損益

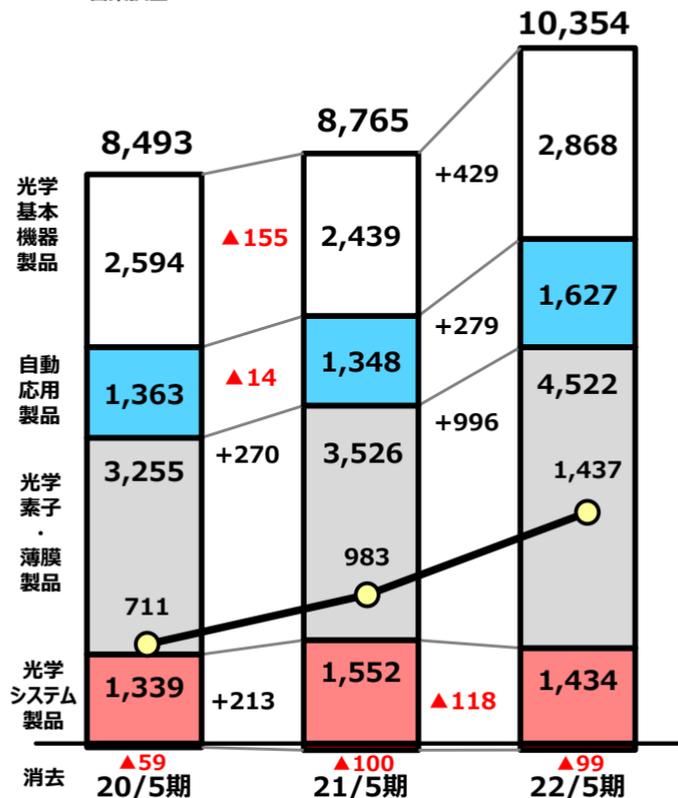
【百万円未満切り捨て】

事業区分	20/5期	21/5期	22/5期	
	累計実績	累計実績	累計実績	前年同期比
要素部品事業	1,184	1,378	1,941	+40.9 %
システム製品事業	28	152	70	▲53.7 %
消去	▲501	▲547	▲574	-
合計	711	983	1,437	+46.2 %

### 売上高

【百万円未満切り捨て】

● 営業損益



# 3 グループ所在地別売上高・営業損益(連結)

20/5期

21/5期

22/5期

[百万円未満切り捨て]

売上高

営業損益

売上高

営業損益

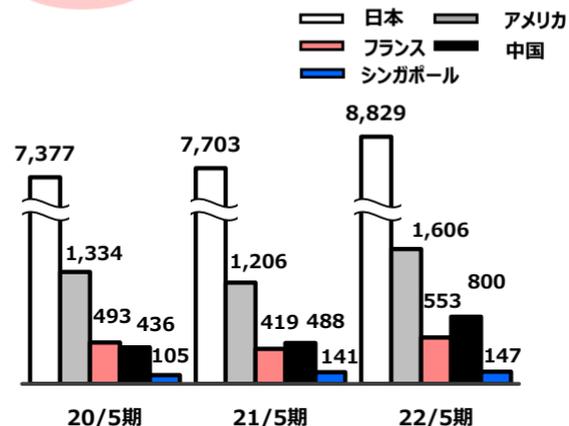
売上高

営業損益

日本	7,377	1,081	7,703	1,348	8,829	1,734
アメリカ	1,334	53	1,206	46	1,606	66
フランス	493	▲10	419	▲29	553	▲2
中国	436	39	488	66	800	113
シンガポール	105	▲9	141	▲2	147	1
消去又は全社	▲1,253	▲442	▲1,194	▲447	▲1,583	▲475
合計	8,493	711	8,765	983	10,354	1,437
平均為替レート						
1USD		109.10円		106.17円		112.86円
1ユーロ		121.14円		123.73円		131.01円
1人民元		15.66円		15.63円		17.59円
1SGD		79.47円		77.65円		83.73円

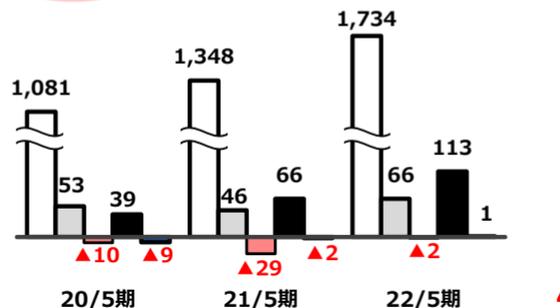
## 売上高

※消去額を除く  
[百万円未満切り捨て]



## 営業損益

※消去額を除く  
[百万円未満切り捨て]



## COVID-19の規制緩和が進み、総じて堅調に推移。

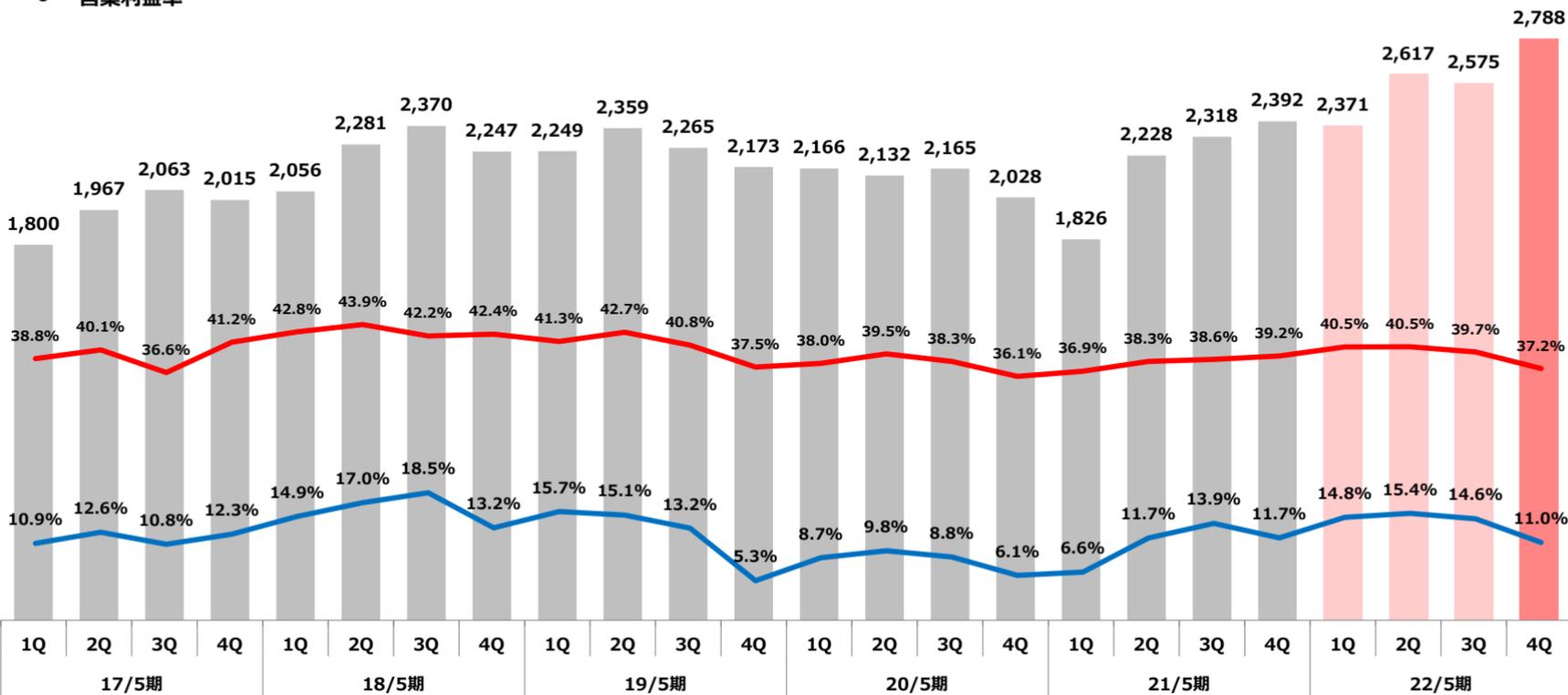
北米地域は産業分野向けが堅調。欧州地域は官公庁・産業分野とも堅調。  
アジア地域は中国の産業分野向けが堅調も、東南アジア地域はやや弱含みで推移。

【百万円未満切り捨て】	20/5期		21/5期		22/5期		前年同期比	サマリー
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比		
売上高	8,493	100.0 %	8,765	100.0 %	10,354	100.0 %	+18.1 %	
海外売上高	2,655	31.3 %	2,663	30.4 %	3,409	32.9 %	+28.0 %	・ 各国で経済再開が進み総じて堅調に推移
アメリカ	1,167	13.7 %	993	11.3 %	1,308	12.6 %	+31.7 %	・ 産業リピート案件及び新規受注が回復
ヨーロッパ	502	5.9 %	443	5.1 %	562	5.4 %	+26.8 %	・ 官公庁向け及び産業リピート案件が回復
アジア・ オセアニア	938	11.0 %	1,177	13.4 %	1,466	14.2 %	+24.5 %	・ 半導体業界等の産業分野向け 生産・検査装置の組み込み用途が好調
その他	47	0.6 %	48	0.6 %	72	0.7 %	+49.2 %	

# 5 売上高・利益率推移 (連結)

【百万円未満切り捨て】

- 売上高
- 売上総利益率
- 営業利益率



## 6 売上原価の状況(連結)

売上高原価率は前年同期比で1.1pt改善。

増収に伴い材料費等は増加も、売上高の製品構成の変化により材料費等の構成比率が減少。  
需要増加に伴い労務費が上昇。設備投資の執行時期の見直しにより減価償却費は抑制。

【百万円未満切り捨て】	20/5期		21/5期		22/5期		前年同期比	サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比		
売上高	8,493	100.0 %	8,765	100.0 %	10,354	100.0 %	+18.1 %	
材料費等	3,242	38.2 %	3,283	37.5 %	3,763	36.4 %	+14.6 %	・ 産業分野向けのリピーター・OEM案件の光学素子薄膜製品・自動応用製品が好調 ・ 在庫評価損が増加
労務費	1,498	17.6 %	1,561	17.8 %	1,749	16.9 %	+12.0 %	・ 収益増加による賞与支給額の増加 ・ 需要増加により残業時間が増加傾向
減価償却費	251	3.0 %	263	3.0 %	242	2.3 %	▲7.9 %	・ 設備投資の執行時期の見直しにより抑制
その他	272	3.2 %	297	3.4 %	514	5.0 %	+72.6 %	・ 修繕費、関税、消耗品費等の増加
売上原価	5,265	62.0 %	5,406	61.7 %	6,269	60.6 %	+16.0 %	
売上総利益	3,227	38.0 %	3,359	38.3 %	4,084	39.4 %	+21.6 %	

販管費率は前年同期比で1.5pt改善。

全社的な経費削減を推進して、販管費の構成比率を抑制。売上高と比べて増加率も大幅抑制。  
COVID-19制限緩和を受け、展示会出展等再開。収益増加を背景に賞与支給額増加。

【百万円未満切り捨て】	20/5期		21/5期		22/5期		前年同期比	サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比		
売上高	8,493	100.0 %	8,765	100.0 %	10,354	100.0 %	+18.1 %	
販売促進費	394	4.6 %	347	4.0 %	353	3.4 %	+1.7 %	
広告宣伝費	94	1.1 %	47	0.5 %	83	0.8 %	+76.5 %	・ 海外展示会再開により増加
人件費	1,022	12.0 %	996	11.4 %	1,108	10.7 %	+11.2 %	・ 収益増加による賞与支給額の増加
減価償却費	80	0.9 %	84	1.0 %	90	0.9 %	+6.8 %	・ 海外グループ会社のITシステム資産の 供用開始に伴う増加
試験研究費	307	3.6 %	334	3.8 %	357	3.5 %	+6.7 %	・ 継続的な研究開発により増加
その他	617	7.3 %	565	6.5 %	654	6.3 %	+15.6 %	・ 支払手数料の増加 ・ 租税公課の増加 ・ 荷造運送費の増加
販売管理費	2,515	29.6 %	2,376	27.1 %	2,646	25.6 %	+11.4 %	
営業利益	711	8.4 %	983	11.2 %	1,437	13.9 %	+46.2 %	

# 8 バランスシート概要(連結)

	20/5期	21/5期	22/5期		
【百万円未満切り捨て】	期末	期末	期末	前期末比	サマリー
現金・預金	3,350	3,113	2,948	▲5.3 %	
受取手形	283	204	169	▲17.2 %	
電子記録債権	655	567	809	+42.8 %	・売上高の増加による売掛債権の増加
売掛金	1,550	1,720	2,085	+21.2 %	
棚卸資産	2,355	2,271	2,667	+17.4 %	
その他流動資産	798	2,325	2,908	+25.1 %	・有価証券(短期金銭信託)の増加
有形・無形固定資産	3,911	3,802	3,681	▲3.2 %	
投資等	3,247	3,229	3,238	+0.3 %	
資産合計	16,152	17,235	18,509	+7.4 %	
支払手形・買掛金	474	506	623	+23.2 %	・外部調達増加による増加
電子記録債務	537	526	690	+31.1 %	・外部調達増加による増加
短期借入金	246	276	244	▲11.5 %	
その他流動負債	597	870	975	+12.0 %	
長期借入金	478	368	161	▲56.2 %	・借換のタイミングによる減少
その他固定負債	809	824	848	+3.0 %	
純資産合計	13,009	13,862	14,966	+8.0 %	
負債・純資産合計	16,152	17,235	18,509	+7.4 %	

# 9 キャッシュフロー概要(連結)

【百万円未満切り捨て】	20/5期 通期累計	21/5期 通期累計	22/5期 通期累計	サマリー (当期中の増減額の要因)
営業活動	1,144	1,577	942	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売掛債権の増額による減少</li> <li>・ 法人税と消費税の支払いによる減少</li> <li>・ 棚卸資産の増加による減少</li> <li>・ 仕入債務の増額による増加</li> </ul>
投資活動	▲297	▲1,486	▲708	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有価証券運用額を増加したことによる減少</li> </ul>
フリーキャッシュフロー	846	91	234	
財務活動	142	▲370	▲532	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 借入の返済による減少</li> <li>・ 配当金の支払いによる減少</li> </ul>
現金及び 現金同等物の期末残高	3,449	3,247	3,135	

# 目次

## 1. 2022年5月期 決算概要

執行役員 管理本部長兼経理部長

石井 康之

## 2. 2023年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長兼経理部長

石井 康之

## 3. 2023年5月期 営業戦略

営業本部長

森 政之

## 4. 質疑応答

## ◆スローガン

「アジアNo. 1」から

「世界No. 1」へ

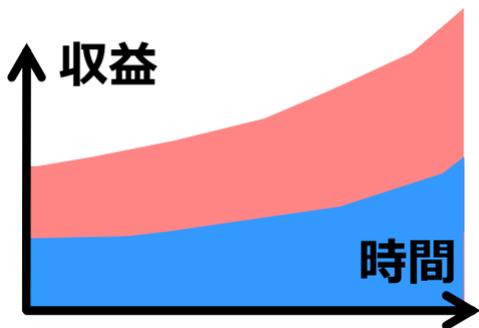
## ◆事業戦略 基本方針

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

# 「光技術」活躍フィールドの拡大続く

- メガトレンド：
- 超微細化・高精細化
  - 量子の時代
  - 高齢化・長寿化の時代
  - AI&ロボティクスの融合
  - 宇宙開発が加速
  - サステナビリティへの取り組み

## シグマ光機の重点戦略



+成長戦略を仕掛ける

+既存事業の継続成長

- ① 新市場・成長市場向け展開強化
- ② 生産性向上・生産体制強化
- ③ 社会貢献活動の推進等

- ① 新製品・新技術開発力強化
- ② 人材教育・人材育成+IT活用
- ③ ウェブビジネス展開&ブランディング等

堅調な需要環境の中、設備投資、研究開発、人材投資等の成長投資推進。

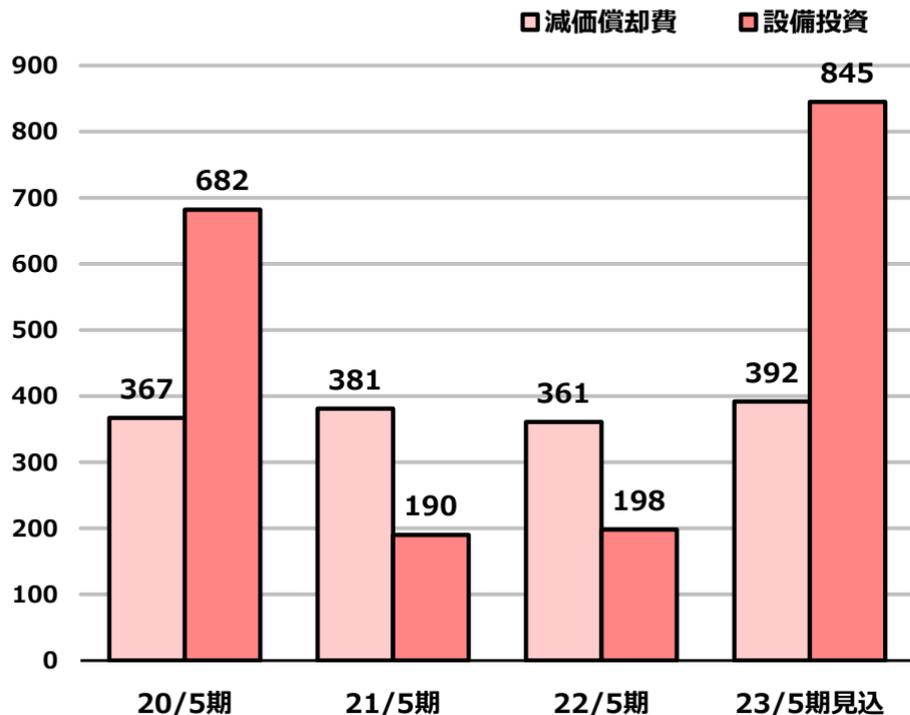
電子部品・半導体業界等を中心に産業分野向けの需要は引き続き堅調で推移。  
COVID-19規制緩和を受け販促活動推進。設備投資・研究開発投資増加見込み。

【百万円未満 切り捨て】	21/5期		22/5期		23/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期実績	下期予算	通期予算	構成比	差額	増減率
売上高	8,765	100.0 %	10,354	100.0 %	5,295	5,385	10,680	100.0 %	+325	+3.1 %
営業利益	983	11.2 %	1,437	13.9 %	805	745	1,550	14.5 %	+112	+7.8 %
経常利益	1,152	13.2 %	1,614	15.6 %	870	830	1,700	15.9 %	+85	+5.3 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	822	9.4 %	1,170	11.3 %	600	585	1,185	11.1 %	+14	+1.3 %
1株当り 当期純利益	116円15銭	-	165円23銭	-	84円71銭	-	167円32銭	-	-	-

当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=120.00円、11-0=130.00円、1人民元=18.00円、1SGD=85.00円で計算しております。

## 設備投資・減価償却費

【百万円未満切り捨て】



## 補足説明

【百万円未満切り捨て】

### ◎主要設備投資

#### ○20/5期

- ・日高新規工場棟建設 5.1億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.3億円
- ・オプトシグマ設備投資 0.2億円
- ・オプトシグマヨーロッパ設備投資 0.2億円

#### ○21/5期

- ・上海シグマ光機設備投資 0.9億円
- ・オプトシグマ設備投資 0.3億円

#### ○22/5期

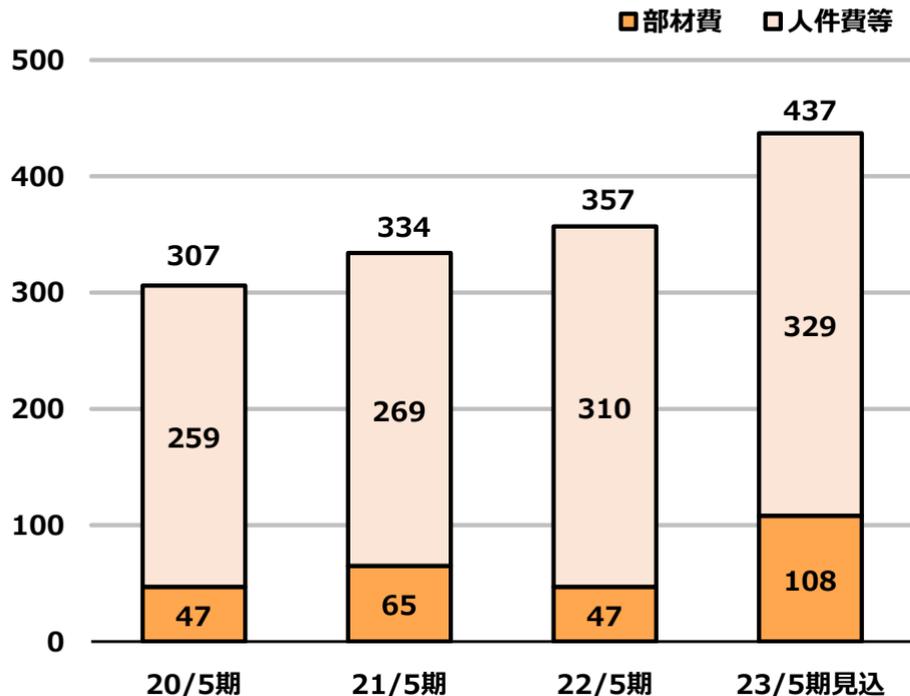
- ・上海シグマ光機設備投資 0.9億円
- ・光学素子設備投資 0.5億円
- ・基本機器設備投資 0.1億円

#### ○23/5期見込

- ・光学素子設備投資 2.6億円
- ・基本機器設備投資 1.0億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.6億円

## 研究開発費

【百万円未満切り捨て】



## 補足説明

【百万円未満切り捨て】

### ○人件費等

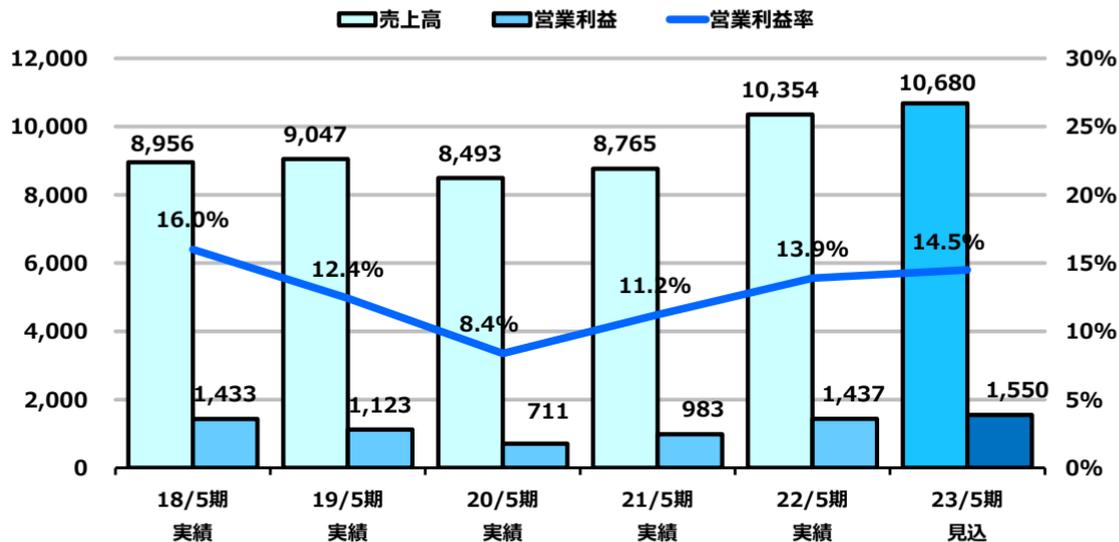
	人件費等	研究開発費 (人件費込み) 売上高比率
20/5期	259	3.6%
21/5期	269	3.8%
22/5期	310	3.5%
23/5期見込	329	4.1%

### ○部品費

	自社	産学官連携
20/5期	47	22
21/5期	65	28
22/5期	47	16
23/5期見込	108	20

# 6 売上高・営業利益・営業利益率予想(連結)

[百万円未満切り捨て]



## 2023年5月期通期サマリー

- ① 堅調な需要環境続く。
    - 引き続き産業分野向けが堅調で推移
    - 供給不足、地政学リスク等、先行き不透明感続く
  - ② 売上原価率の改善
    - 産業分野向け需要増より原価率改善
    - 設備投資の執行予定により減価償却費は増加
  - ③ 販売管理費は増加
    - 海外展示会等の広告宣伝費の増加
    - 研究開発の継続による試験研究費増加
- <設備投資の増加>
- 高精度設備増強
  - 増産対応のための設備増強

## \* 強固な財務体質を堅持 (連結)

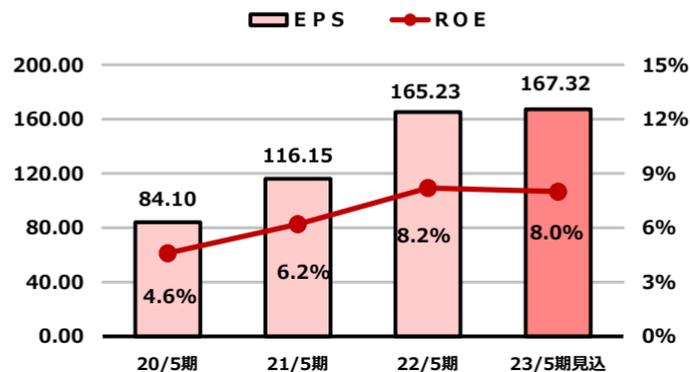
- ① 自己資本比率 21/5期 : 80.0% → 22/5期 : 80.4%
- ② 利益剰余金 21/5期 : 8,246百万円 → 22/5期 : 9,133百万円
- ③ 純有利子負債 21/5期 : ▲2,468百万円 → 22/5期 : ▲2,542百万円

# 7 収益性分析の概要

## 連結EPS・ROE

	20/5期 通期	21/5期 通期	22/5期 通期	23/5期 通期見込
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	595	822	1,170	1,185
1株当たり 当期純利益 (円) (EPS)	84.10	116.15	165.23	167.32
自己資本 当期純利益率 (%) (ROE)	4.6	6.2	8.2	8.0(*)

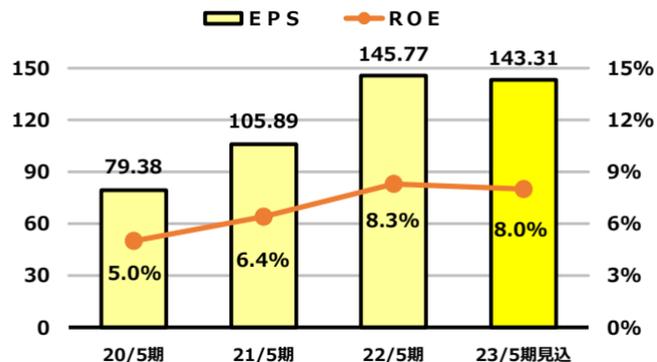
※2022年5月期末の自己資本額を元に試算しております。



## 単体EPS・ROE

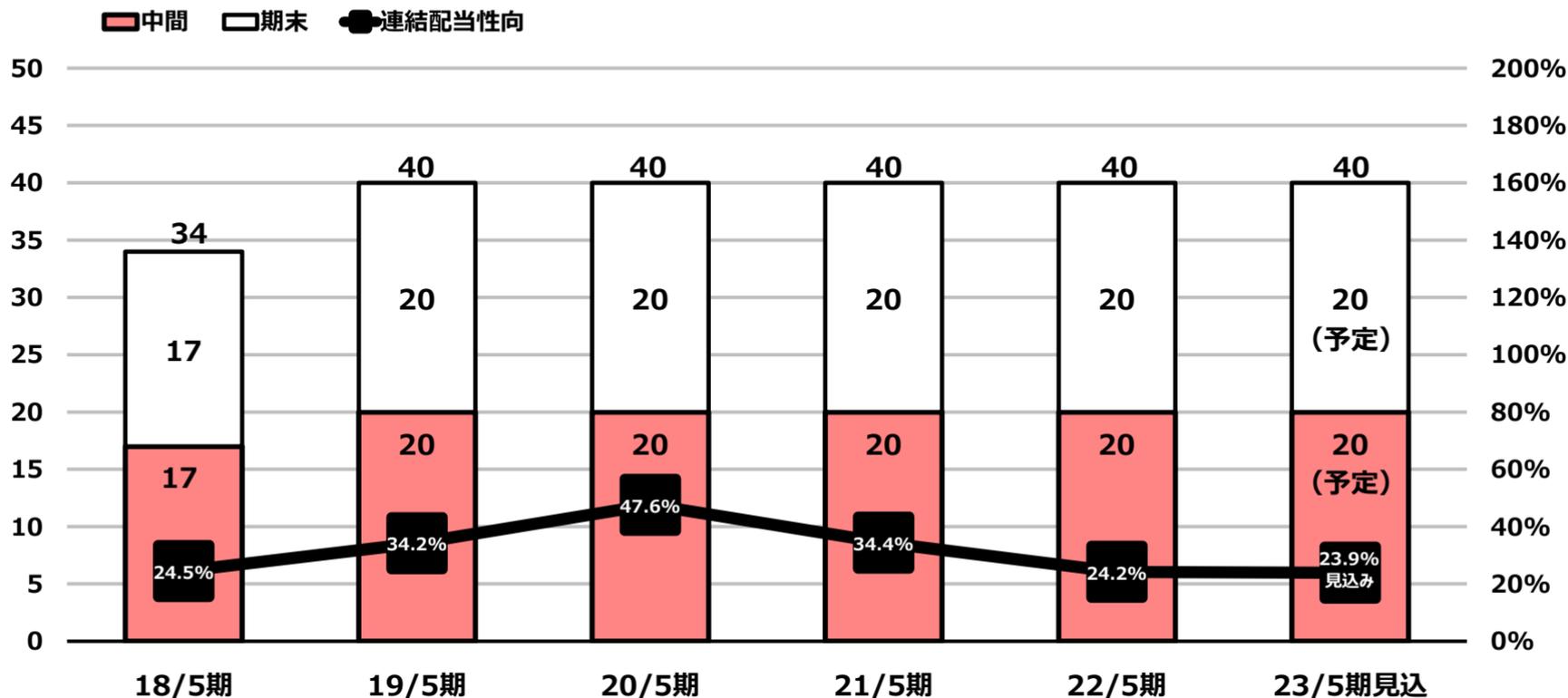
	20/5期 通期	21/5期 通期	22/5期 通期	23/5期 通期見込
当期純利益 (百万円)	562	749	1,032	1,015
1株当たり 当期純利益 (円) (EPS)	79.38	105.89	145.77	143.31
自己資本 当期純利益率 (%) (ROE)	5.0	6.4	8.3	8.0(*)

※2022年5月期末の自己資本額を元に試算しております。



【単位：円】

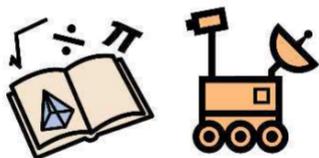
## 継続的・安定的な配当を維持



# 目次

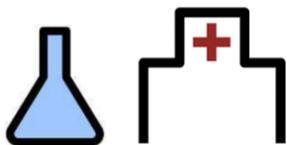
1. 2022年5月期第 決算概要  
執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之
2. 2023年5月期 事業戦略 及び 通期見通し  
執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之
3. 2023年5月期 営業戦略  
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

## 国家PJ&研究機関



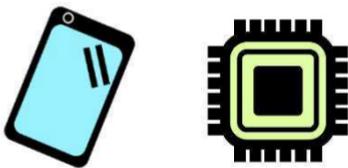
- 量子関連
- ナノスケール精度関連
- ハイパワー・特殊使用環境

## メディカルフォトンクス



- 低侵襲治療・美容用途
- ポータブル化・遠隔治療
- 再生医療・バイオ観察

## スマートフォン&半導体



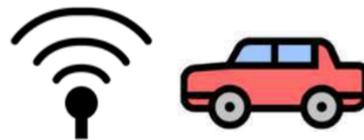
- 次世代装置(超微細加工等)
- AI&IoT
- OLED・次世代パネル

## 防衛・航空宇宙



- 宇宙探索
- 天文観察
- 海上・航空監視

## 通信・車・センシング



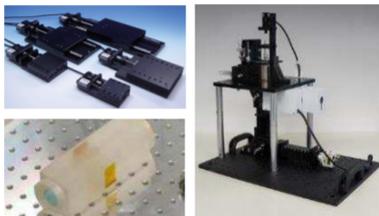
- 5G用モジュール組立装置
- 次世代通信関連
- 自動運転用センシング関連

## その他産業装置等



- 装置の多機能・高性能化
- 形状測定・微細加工・表面改質
- 省エネ・環境配慮
- AI&IoT

## 国家PJ&研究機関



- ・ナノステージシステム
- ・コアユニット顕微鏡 / ケージシステム
- ・超高分解能光学ユニット
- ・超高安定ホルダ
- ・スーパーミラー等

## メディカルフォトンクス



- ・医療用レーザシステム
- ・医療用光学システム
- ・分析用組込み製品
- ・バイオ用高精度自動ステージ
- ・バイオイメージング

## スマートフォン&半導体



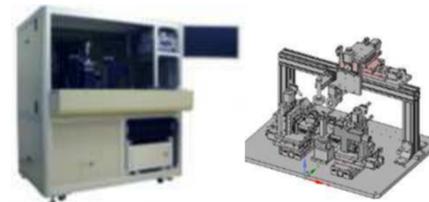
- ・レーザ加工機
- ・加工鏡筒/対物レンズ/集光レンズ
- ・高耐久光学コンポーネント
- ・高分解能光学ユニット
- ・自動ステージ等

## 防衛・航空宇宙



- ・地磁気センサー
- ・圧力センサー
- ・耐放射線レンズ
- ・カセグレン望遠鏡等
- ・人口衛星用光学素子等

## 通信・車・センシング



- ・ファイバー/導波路用自動調芯装置
- ・生産設備用光学ユニット
- ・光学モジュール等

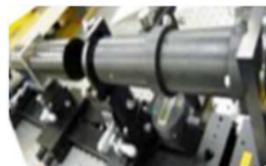
## その他産業装置等



- ・ナノオーダー観察製品群
- ・X線イメージングユニット
- ・NIR観察製品群
- ・ソルダリング関連等
- ・分析用製品

## ① 半導体向け設備組込製品、高精度光学ユニットの需要増

- ・高精度光学ユニットの需要が増加、新規OEM獲得継続
- ・半導体関連OEM案件が増加  
49期以降も需要継続



## ② 通信デバイス向けシステム・ユニットの需要増

- ・次世代向け超高精度調芯装置を含む需要が増加  
49期以降もモジュールの量産に向け装置・ユニットの需要増が継続



## ③ 医療向けレーザーシステム・バイオフォトニクス用ユニットの需要増

- ・医療向け新PJが進行
- ・バイオフォトニクス用ユニットの新規OEM案件受注・売上が継続

## ④ 研究用途大型国家PJ案件の受注

## ⑤ 防衛/航空宇宙関連向け光学ユニット・光学素子案件は継続

## ⑥ スマートフォン・テレビ向け設備投資が2023年以降縮小見込み

- ・生産設備用対物レンズを含む光学ユニットを使用する  
一部のお客様のLCD製造ライン向けは2022年末まで順次出荷予定
- ・OLED製造ライン向けは不透明感



## ■ アジア地域（中国・韓国・台湾・シンガポール）

- ・中国を中心にした生産設備組込み用製品の需要継続
- ・コラボレーションによる自動調芯装置・超高分解能観察ユニット等の受注増加
- ・大学・研究所向け高難易度チャレンジ案件の受注実績増加

## ■ 北米・南米地域

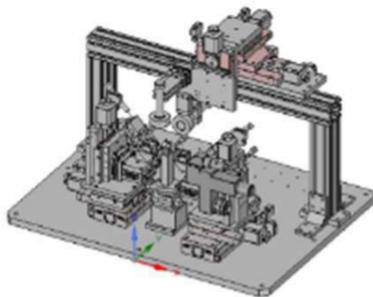
- ・東海岸エリアの開拓継続
- ・生産設備組込み用製品の需要増と受注増加
- ・国家PJ、航空宇宙分野等の高難易度チャレンジ案件の受注増加
- ・バイオメディカル・バイオフィotonics用光学ユニットの受注継続、出荷開始

## ■ EU圏

- ・大学・研究所向け大口・高難易度チャレンジ案件の受注フォロー中
- ・OSEドイツ支社の開設効果もあり、大型PJ・新規顧客を開拓中

- ① OEM・ODM案件創出
- ② チャレンジ案件(オンリーワン製品)獲得
- ③ 新規潜在顧客層開拓
- ④ お客様満足度向上
- ⑤ 魅力的な新製品投入・ラインナップ強化

- 生産設備・検査設備組込み用途案件を中心に創出。  
特注対応力・応用例・動画を活用、基礎実験等を  
**技術部門**・**生産部門**と連携、OEM・ODM案件を創出



## ■ 国内・海外から当社技術力へ期待した 国家PJ入札含む高難易度案件を具現化



高精度光学ユニット

設計技術  
製造技術  
評価技術

生産設備用OEM製品、  
研究用途高分解能ユニット等の  
問い合わせ・受注増加中



高精度オプティカル・キャビティ

スーパーミラー  
接合技術  
組立技術

量子関連等、先端研究分野、  
海外含め、問い合わせ・受注  
増加中

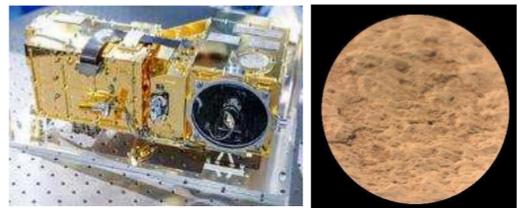


Image Credit:  
LESIA Observatoire de Paris PSL

Image Credit:  
NASA/JPL-Caltech/LANL/CNRS/CNRS

NASA/CNES「Mars2020計画」

火星探査機搭載

SuperCam検出器用光学素子

各国から天文・航空宇宙向け  
案件の引き合いと受注継続

## ■ オンラインセミナー開催（2020/7より**継続**）

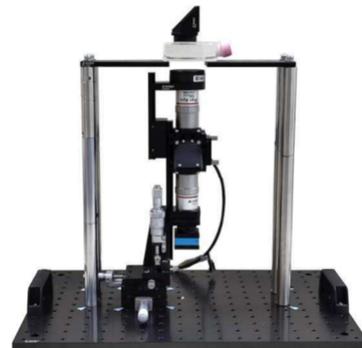
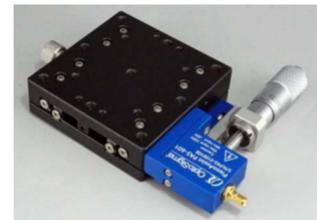
アプリケーションにおけるシグマ光機製品の使用例など  
初心者の方が解り易いセミナーを継続開催  
参加者より高い満足度評価

1回/月 開催

## ■ オンラインプライベート展示会・製品選定サポート等

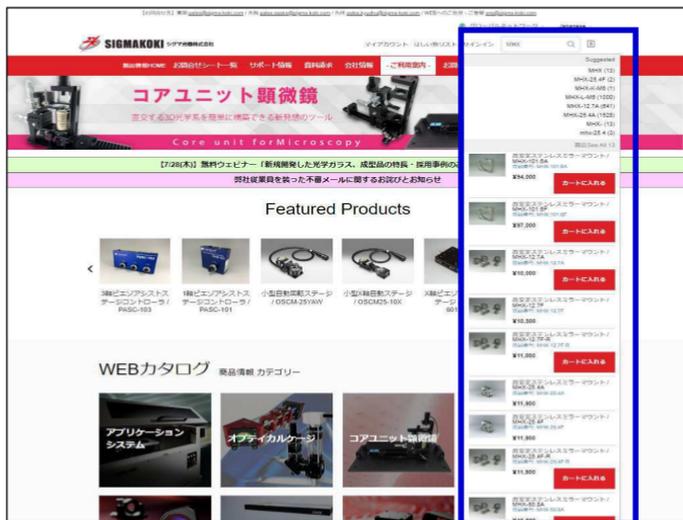
オンラインと直接訪問のハイブリッドで対応  
お客様に合った内容・方法

**➡ お客様満足度向上・新規案件獲得**



## 2022/6/6 Web 改善

- 20,000種類からの製品検索精度を向上、  
お客様のご意見を反映し、使い易いWebへ改善継続中



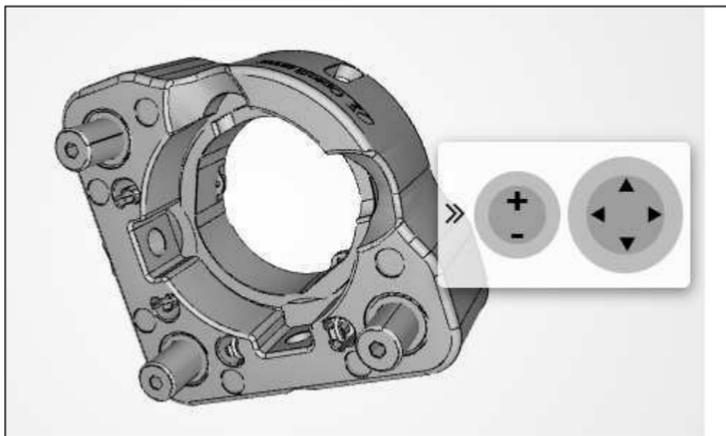
類似の型式から10製品まで  
自動で絞り込み、  
お客様が製品選定をし易く改善。



**お客様満足度向上・新規顧客獲得**

## 2022/6/6 Web 改善

### ■お客様が2Dデータでは分かりにくい製品形状をWebで確認



製品をお客様が自由に方向・回転・拡大

3D CADツールを持たない  
お客様でもWebで製品形状を  
確認できるようになりました。

※対象製品は随時拡大中



お客様満足度向上・新規顧客獲得

## ■ 研究用途製品



**新製品 MHX-101.6F**  
(φ101.6mm)



ご参考 : MHXシリーズ  
(φ12.7-50.8mm)

**高安定ステンレスミラーマウント / MHXシリーズラインナップ強化 :**  
特殊な生産方法の為、φ50.8mm以上の製品の製作は不可能でしたが、生産技術を向上、φ101.6mmの製作を可能にしました。

## ■ 生産設備用製品



**黒体炉検査ユニット / SBIU-150 :**  
生産設備用途に使用される、非接触温度計など赤外線を使った装置の測定温度を評価するための黒体炉検査ユニットです。

**最先端研究・生産設備に必要な製品をラインナップ強化中**

# ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。